

県安協正副会長は留任

平成5年度の事業・決算報告承認

＝県安協理事・評議員会開く＝

県交通安全協会は、五月二十三日甲府市吉名屋ホテルで理事・評議員会を開き、平成5年度の事業報告及び収支決算報告を審議し、これを承認したあと、役員改選が行われましたが、正副会長はいずれも再選され留任となりました。

理事・評議員会では、初めて志村哲良会長があいさつし、「県内の死」事故は急増しており極めて厳しい情勢にある。それぞれの地域の交通実態をよく把握して、交通事故、とりわけ死亡事故防止に有効な活動を見出し、一層の活躍をして欲しい」と地域に根ざした活動の活性化を強調しました。



評議員会であいさつする志村会長

年度の事業報告（別掲）と決算報告を審議し、ともに全員一致で承認しました。

このあと任期満了とともになう正副会長等の役員改選が行われましたが、いずれも再選されました。

最後に、県警古屋城交通部長から、改正道路交通法の内容や県内の交通情勢を聴講して閉会しました。

各理事・評議員は、厳しい交通情勢下であるだけに、より一層交通事故防止のための諸活動に取り組んでいくことを誓いました。

このあと退職役員の送別会が行われ、理事を退職された森巣（前上野原安協会長）

小澤氏らと都留安協

—輝く関東管区表彰—



東京農林年金会館で記念撮影

平成5年度事業報告

一、交通安全運動の実施

運転者十一人、○緑十字鉄
章百九人、○県安協等表彰、
黄色い羽根・スター、
ビラ・腕章等を購入・配布

〔春・年末始交通安全県民運動重点の実現に貢献
二、交通安全功労者・優良運転者等の表彰

運転者十一人、○緑十字鉄
章百九人、○県安協等表彰、
優良安協八、功労者八人、
功労団体十二、功労役員九
十人、優良運転者二百六十
一人、優良職員四人等表彰

〔春・秋の全国交通安全運動
三、二輪車・自転車の交通安全

全対策の推進
〔春・秋の全国交通安全運動
期間中に街頭指導を実施
〔4・28県一推委員・幹事会
同会議、5・7高校生原付講習合会、5・12県自転車検査実施、11・6指導員講習

〔4・6・20第23回二輪車安全運転大会を開催し五十九人が参加。優勝者4人がが7・

〔4・6・20第23回二輪車安全運転大会を開催し五十九人が参加。優勝者4人がが7・
〔5・10・4二輪車指導員認定審査、
〔5・11・6指導員講習

〔5・10・29第35回県下中学生交通安全弁論大会を開催。
〔5・10・29第35回県下中学生交通安全弁論大会を開催。
〔5・10・29第35回県下中学生交通安全弁論大会を開催。

出発式
県会議事堂前で初日の

春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間行われました。各地区安全協会では各種活動の中心となつて活躍いただき、本当は二人増という残念な結果になりました。

期間中の交通事故は、発生七十九件、死者三人、傷者九十六人でいずれも増、特に死者は二人増という結果になりました。

期間中の皆さんの活動ぶりをご紹介します。

思いを新たにしてこれから地域での交通事故防止活動にさらに奮起してくださるようお願いいたします。

地区だより

春の交通安全運動特集



小学生に黄色い羽根をついている役員（鎌沢）



安全運動を前に新入学児童にランドセルカバー等贈呈 (長坂)



街頭指導所の開設を前にして (小笠原)



シートベルトコンビンサーで街頭指導 (甲府)



交通安全ゲートボール大会でルールを身につける (都留)



塩山駅前での出発式 (塩山)



街頭指導所でソフトに訴える婦人部員 (石和)



幼稚園児に黄色い羽根をつけてやっている役員 (南部)



高齢者安全教室で指導している婦人部員 (南甲府)



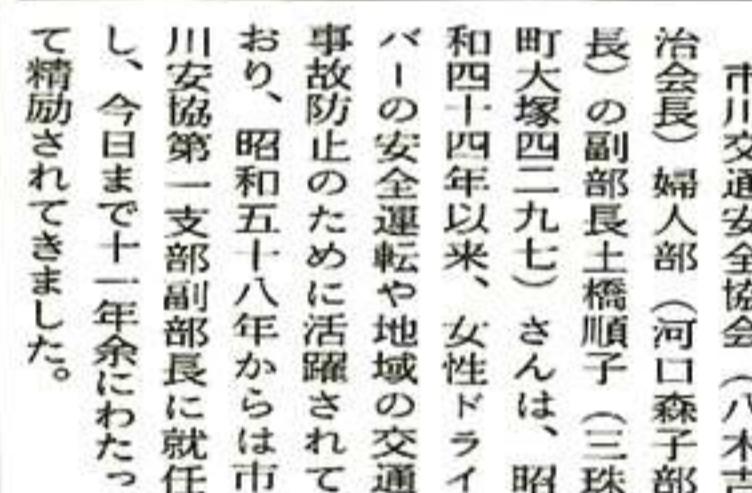
東の県境で県外車に安全運転を訴える (上野原)



交通安全ゲートボール大会 (大月)



街頭指導で配るマスク作りをする婦人部員 (富士吉田)



市川交通安全協会 (八木吉治会長)

婦人部 (河口森子部長) 初の支部長に就任

土橋順子さん、県三珠第一支部

婦人部の活動



県交通安全協会では、県警全運動を契機として反射材の販売を始めたのですが、今年の三月までに販売された反射材の数は約一千八百点でした。ところが今年の四、五月の二か月間の販売数は大幅に増えています。

これは、各地区安協等による反射材の普及宣伝活動が盛んに行われているため、反射材の効果が県下に知られ始めているということにあるようです。今後ともよろしくお願ひいたします。

○小笠原地区で「高輝度反射材」等々約一千八百本とほど同じで、大幅に増えています。

これは、県内に居住または勤務しており、自動車運転免許（原付も含む）を持っていられる者一人を一チームとし、十七本の反射材の普及宣伝活動が盛んに行われているため、反射材の効果が県下に知られ始めているということにあるようです。今後ともよろしくお願ひいたします。

○上野原地区で「カーリバード」二百六十本

○韮崎地区で「反射タスキ」七千本

反射材で夜の安全を

県下各地で購入者急増

昨年九月、秋の全国交通安全運動を契機として反射材の販売を始めたのですが、今年の三月までに販売された反射材の数は約一千八百点でした。

ところが今年の四、五月の二か月間の販売数は約一千八百点とほど同じで、大幅に増えています。

これは、各地区安協等による反射材の普及宣伝活動が盛んに行われているため、反射材の効果が県下に知られ始めているということにあるようです。今後ともよろしくお願ひいたします。

○上野原地区で「カーリバード」二百六十本

○韮崎地区で「反射タスキ」七千本

○小笠原地区で「高輝度反射

材」等々約一千八百本とほど同じで、大幅に増えています。

これは、各地区安協等による反射材の普及宣伝活動が盛んに行われているため、反射材の効果が県下に知られ始めているということにあるようです。今後ともよろしくお願ひいたします。

○上野原地区で「カーリバード」二百六十本

○韮崎地区で「反射タスキ」七千本

○小笠原地区で「高輝度反射

材」等々約一千八百本とほど同じで、大幅に増えています。

これは、各地区安協等による反射材の普及宣伝活動が盛んに行われているため、反射材の効果が県下に知られ始めている

ことあるようです。今後ともよろしくお願ひいたします。

○上野原地区で「カーリバード」二百六十本

○韮崎地区で「反射タスキ」七千本